

オーセンティックな英語表現の提示の試み

栃木県立今市高等学校教諭 津吹 文男

1. 結構おもしろい検定教科書

高校のライティングの授業で、検定教科書はどう使われているだろうか。教職31年目となる筆者の体験では、ライティングの授業といえば入試問題演習系のテキストを主たる教材とすることが多く、検定教科書はほとんど使われない。特に、パラグラフ・ライティングなどの章になるとやらない。

現在筆者が赴任している学校では、副教材も併用するが、基本的には検定教科書を使った授業を展開している。平成21年度、筆者は3年生のライティング(3単位)の授業担当者のひとりとなり、文英堂の*New Edition POWWOW ENGLISH WRITING*を使った。2年次からの継続使用なので、途中から使うことは当初は嫌だった。ところが使い出してみると、検定教科書は意外にも使える(失礼!)。レイアウトのよさは文英堂の伝統かもしれないが、何よりも各レッスンの課題が3年生の知的好奇心に対応するのがよい。

たとえば教科書の最終章には、「今、日本の水田が消えつつある。この問題をあなたはどうか考えるか」という主旨の課題がある。日本語でも難度の高い設問だが、筆者も興味のあるテーマなので県の農務部に照会して最新データを入手し、農業問題の骨格を生徒たちに説明した。その後、パラグラフ・ライティングをさせてみたところ、予想以上に取り組む生徒がいたので筆者は気をよくした。成績下位の生徒たちの中にも意欲的な生徒が現れた。以下、秀作と思われる生徒の作品を二つほど紹介する。

教科書 109 ページ

LESSON 42 PRACTICE C

「なぜ日本で田んぼ (rice fields) が減っているか、その原因を述べたパラグラフを書きなさい。」

A. 優秀生徒作品 Sachi

Why are there decreasing rice fields in Japan? One reason is the aging of farmers. Now 60 % of the population engaged in agriculture is 65 years or over. The second reason is a change in food style. Young people in Japan eat more foods like bread and pasta than rice. I wonder how Japan will be different due to this ongoing change.

なぜ日本の田んぼが減り続けているのだろうか。一つの理由は農業者の高齢化である。今や農業従事者の60%が65歳以上である。第二の理由は食生活の変化である。日本の若者はコメよりもパンやパスタを食べる。このまま変化が進むと日本はどうなってしまうのだろうか。

B. 優秀生徒作品 Miho

Why are the people who work in agriculture decreasing? This is because people in agriculture are mostly senior citizens. Moreover the young people are entering companies because they do not like agriculture. This is a problem. I think that it is important for young people to be more interested in agriculture.

なぜ農業部門で働く人が減っているのだろうか。これは農業従事者が高齢化しているからだ。さらに若者が農業を好まず会社で働きたがるからだ。これは問題だ。若者がもっと農業に関心を持つことが重要だと思う。

C. 教科書解答例

The number of rice fields in Japan has declined. I think there are two reasons. One reason is that we don't eat so much rice as before. The other reason is that many young people in the country have come to dislike farming and like to work in cities.

日本の田んぼが減っている。これには二つの理由があると思う。第一の理由は、以前ほどコメを食べないからだ。もう一つの理由は若者の多くが農業を嫌がり、都会で働きたがるからだ。

(訳責：津吹)

2. 教科書の英文を身近に

ライティングの授業では、学習者の表現欲求を満たす例文を提示したいと常に思っていた。12月中旬、センター試験を1ヶ月ほど後に控えた頃 *POWWOW ENGLISH WRITING* の教科書が終わった。筆者の勤務校は3学期にも定期試験を実施する。すでに進路が内定した生徒たちは学習意欲を失いがちである。共通授業担当者に *POWWOW ENGLISH WRITING* の付録の活用を提案したところ、賛同を得た。教科書には付録として文法・構文のまとめになる例文集が載っているが、勤務校の生徒が身近に感じると思われるように修正を加え、46文にまとめた。

これも意外な結果だったが、ふだん授業中に寝てしまいそうな生徒の中から、おもしろがって暗唱練習を始めるペアが現れた。クラス全体に聞こえる声量で練習を始めたのである。その一部について、紙上再録を試みる。

A: あたしさあ、ライティング2年のとき、いつも赤点だった。

B: あたしも。英語全然わかんない。

A: 英語、中1のときは好きだったなあ。簡単だったし。Are you a student? Do you from Canada?

B: うんうん。

A: 中1の3学期から難しくなったよね。中2になったら、もう英語は無理だと思った。

B: うん。

A: Kumon で教えてもらった。ケンカしてやめちゃったけどね。

B: うん。

A: じゃ、やろう。

B: うん。私が出すよ。

A: オッケー。

B: 1番。「日本では新学期は4月に始まります」

A: In Japan ... the new school year begin in April.

B: すごい!! じゃあ、6番行きます。「叔父はわたしに1万円をくれた」

A: My uncle was give ...

B: was じゃなくて…

A: give, give, give ... ガブ (gave) !!

B: My uncle gave me 1万円。

A: 1万円?

B: そう。

A: わかんない。

B: ten thousand.

A: ten (10)? なんで 10,000 じゃないの?

B: My uncle gave me ten thousand yen.

43番。「わたしが一番尊敬するのは坂本龍馬です」

A: サカモト・リョーマ? (二人で顔を見合わせ) どんな人か知らないよね。

B: うん、知らないね。

A: 尊敬ってリスペクトだよ。知ってた?

B: 思い出せません。欲しがりません! 勝つまでは!

B: 41番。「日本の人口はフランスより多い」

A: ええっ? フランスの方が多いんじゃないの?

B: うん、そうだよねえ…

A: 8番。「今年は雪が多くなるかなあ (と疑問に思います)」

B: 今年? This year?

A: うん。でも最初がちがう。

B: 疑問に思う? I wonder think?

A: wonder think じゃない。I wonder if ...

B: イフ? もし!

A: I wonder if だよ。

B: ワンダー? 不思議じゃなかった? まって辞書で引いてみっから…wonder あった。「…かなと思う」。I wonder if で「…かと思う」だ!

A: 42 番。「兄はわたしの 3 倍の CD を持っています」

B: わかんない。

A: My brother has three times as many CDs as I do.

B: do とか in とか on とか, どこに入れるのかわかんないよねえ…

B: うん…

自分たちの背丈にあう例文にすることにより多少の効果があつた例証ではないかと自負している。以下、46 文の中からいくつかの例を紹介する。

①韓国では 3 月に学校が始まります。

In Korea, the new school year begins in March.

②名古屋は東京と大阪の間にあります。

Nagoya is between Tokyo and Osaka.

③私たちは自分たちの学校を略して「イマタカ」と呼びます。

We call our school “Ima-taka” for short.

④あなたに日光を訪れて欲しい。

I want you to visit Nikko.

⑤日光市から東京まで約 120 キロです。

It is about 120 km from Nikko City to Tokyo.

⑥日光市には 17 の中学校があります。

There are seventeen junior high schools in Nikko City.

⑦私たちは県大会で優勝するためにベストを尽くしました。

We did our best to win at the prefectural competition.

⑧私が最も尊敬する人は坂本竜馬です。

The person (whom) I respect most is Sakamoto Ryoma.

⑨わたしはあなたに初めて会った日を忘れません。

I won't forget the day when I met you first.

⑩センター試験が近いですから、風邪をひかないように注意しなさい。

The National Center Test is on the corner, so be careful not to catch a cold.

⑪兄はわたしの 3 倍の CD を持っています。

My brother has three times as many CDs as I do.

学習者に最低限度習得させたいことのエッセンスをつめたものが検定教科書なのであろう。教員が使おうとする意識でみれば、教科書著者の意図ももっと理解できるのかもしれない。検定教科書をもう少し使ってみることを提唱したい。

3. 教科書のない科目の授業

勤務校は総合学科設置校なので、検定教科書のない科目がいくつもある。筆者はその一つの「時事英語」(2 単位)を平成 21 年度に担当したが、試行錯誤の連続だった。学力の高い生徒が混じるクラスで、AFS 留学した生徒は授業中に英語で質問してくる。カナダやアメリカに留学予定の生徒 2 名、後に名門 W 大学の 3 学部すべてに合格する生徒もいた。

最初に試みたのは英字新聞 (*The Japan Times*) の活用である。受講者 20 名の授業なので、当日朝刊 20 部を届けてもらった。その日はトップ・ニュースのリードを全員で読み、その後はその他のニュースから自分の興味のあるもの一つを選び、和訳とコメントを求める授業形式とした。

合計で 4 回、*The Japan Times* を使った。この演習で判明したことの一つは、生徒たちがどんな話題に関心を持っているかである。結果のベスト 3 は次のとおりである。

- ①映画情報ニュース
- ②芸能界のニュース
- ③スポーツ・ニュース

2 学期は、AO 入試や推薦入試に挑む生徒がたくさんいるので、学習者各自に一つ時事的な話題を選ばせレポートを書かせた。用紙は A4、枚数は表紙を含めて 6 枚以上と指定した。英語の授業の一環なので、次の 3 点は英語で表記することを指示した。

- ①タイトル
- ②どんな問題か、他の意見はあるか
- ③あなたの意見 (100 語程度)

比較的学力の高い生徒が履修していたこともあり、2単位の授業としては予想外にりっぱなレポートが提出された。大半の高校生はパソコンで写真などを取り込み、カラフルなレポートが作れると知った。

4. オーセンティックな英語の提供

平成22年度も筆者は3年次の担当となり、「英語表現」(3単位)や「生活英語」(2単位)を担当している。どちらも検定教科書がなく、また、教員生活初の担当である。生活英語の取り組みを紹介したい。

受講者は10名である。身の回りの言葉を取り上げ、難読漢字と組み合わせて教えた。最も反応がよかったのは魚の名前である。市販のトランプを購入し神経衰弱やババ抜きでゲームをさせると、絶叫しながら取り組んだ。

鮪	まぐろ	tuna
鰹	かつお	bonito
膝	ひざ	knee
脛脛	ふくらはぎ	calf
鳩尾	みぞおち	pit of the stomach
睦月	むつき	January
抽斗	ひきだし	drawer
禁忌	きんき	taboo
御神酒	おみき	sacred sake
仙人掌	さぼてん	cactus
胡瓜	きゅうり	cucumber
茄子	なす	eggplant
市役所	しやくしょ	City Hall
具に	つぶさに	in detail
就中	なかんずく	above all

次に生徒の興味・関心に合うボキャブラリーをさがす試みをした。「発想クラスタリング」と名づけ、連想法を活用した。A4サイズ用紙の中央に「学校」と書き、学校から連想するものを次々と日本語で書かせた。中央から放射状に広がる語彙リストを英語にさせた。そのリストをみると、高校3年生が考えていることを垣間見ることができる。

5. まとめ

昨今は生徒による授業評価が本格導入され、辛口の評価にめげがちである。それだけに新しい試みをして予想以上のよい反応を得たときは、人に語りたくなるのも正直なところである。

拙稿で述べたかったのは、検定教科書をもっと使ってみてはどうかということ、加えて、学習者の興味・関心をふまえた切り口で迫ってみてはどうかということである。

公的な研修会での話題は、ずっとコミュニケーション能力育成をめざす授業の実践である。そのためには、学習者と教師のよりよき人間関係の構築をめざすことが大前提と思われる。オーセンティックな教材の提示をすれば必ず生徒が興味を示すと言いたいわけではない。教科書や教材はあくまでも指導の材料であり、その材料をいかに調理するかが問われる。そのためにも学習者の心情を理解し、彼らの琴線に触れる題材の提示、表現欲求を満たす取り組みを模索していきたい。